



Blood Donor Has Saved Millions

特殊な血液の男性 献血で200万人を救う



60年間で200万人以上の赤ちゃんを救ってきたハリソンさん



次の点に注意してニュースを聴いてみよう!

- ハリソンさんの血液はどのように特殊ですか。
- ハリソンさんはどのくらいの頻度で何年間、血液提供を行ってきましたか。
- 彼は、オーストラリアでは何とみなされていますか。



精聴トレーニング

Practice 1 英文を見ずに、ナチュラルスピード **(7)** で聴いてみる。

Practice 2 英文を見ながら音声を聴き、聞き取れなかった箇所の音と文字を確認する。

必要ならゆっくりスピード (ポーズ入り **(8)** / ポーズなし **(9)**) も活用し、聞き取り練習をする。

Practice 3 英文・語注・日本語訳を参考に、内容を理解する。その後、音声を繰り返し聴いて耳を慣らす。さらに、英語の音声をまねながら、音読する。

Optional

1. ナチュラルスピードまたはゆっくりスピードでシャドーイング。
2. ナチュラルスピードまたはゆっくりスピードでディクテーション。
3. 区切り訳の日本語を英語に変換する (反訳練習)。



キーワード

take credit for [krédit] ~ができたのを誇る、自分の手柄にする

antibody [æntibədɪ] 抗体

be fatal to [fə'ɪtəl] ~にとって致命的である、命取りになる

unborn child [ʌnbɔːrn] 胎児

donate [dəʊneɪt] (血液・臓器などを) 提供する



ナチュラルスピード

オーストラリア英語



ゆっくりスピード (ポーズなし)

アメリカ英語

Blood Donor Has Saved Millions

Well, not many people on this planet can take credit for saving more than 2 million lives, but James Harrison of Australia can. His blood holds a **rare** antibody that's critical to fighting rhesus disease, which is often fatal to unborn children. After donating his plasma almost every two weeks for 60 years, he's considered a national hero in Australia. James Harrison has now made his final donation, and he joins us now on the **phone** from his **home** in Umina Beach.

≫82 words (May 17, 2018)

特殊な血液の男性 献血で200万人を救う

さて、200万人以上の命を救ったと誇ることができる人は、地球上にそう多くいるものではない。だが、オーストラリアのジェームズ・ハリソンさんはその一人だ。彼の血液にはまれな抗体があり、それは胎児にとって致命的な疾患となることの多いRh式血液型不適合に対処するのに不可欠な抗体である。60年間にわたり、ほぼ2週間に1度の頻度で血しょうを提供し続けてきた彼は、オーストラリアでは国民的ヒーローとみなされている。このほどジェームズ・ハリソンさんは最後の献血を終えた。今、ユマイナ・ビーチの自宅にいる彼と電話がつながっている。

(訳 石黒円理)

リスニングの
ポイント

オーストラリア英語の母音を聴いてみよう。

2行目の **rare** ≫ [レー]6行目の **phone** ≫ [ファウン]6行目の **home** ≫ [ハウム]

一般に、教養があるオーストラリア英語の話し手は、標準的なイギリス英語によく似た母音を用います。ここでは、二つの母音を取り上げます。まず、**rare**に含まれる母音は、アメリカ英語では、[エア]のように聞こえる二重母音ですが、オーストラリア英語やイギリス英語では、[エー]と[アー]の間くらいに響きをする長母音になります。ほかにも、**pair**が[ペー]のように、**share**が[シェー]のように聞こえます。その結果、**shared**と**shed**は、主として母音の長さで区別されます(前者は長母音、後者は短母音です)。次に、**phone**や**home**に含まれる母音は、アメリカ英語では、[オウ]のように聞こえる二重母音ですが、オーストラリア英語やイギリス英語では、[アウ]と[オウ]の間くらいに響きになります。なお、オーストラリア英語(特に同国南部)では、この二重母音が、[オイ]に近く発音されることもあり、最近増えつつあると言われています。

解説 南條健助(桃山学院大学国際教養学部准教授)